**看護職キャリア支援事業研修　実践評価表**

（日本看護協会版「看護師のクリニカルラダー」レベルⅤ）

**レベルⅤ（定義）：より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し**

**QOLを高めるための看護を実践する**

**所属施設名：　　　　　　　　　部署名：　　　　　　　　　　氏名：**

|  |  |
| --- | --- |
| **目　　標****□ 行動目標（行動目標毎に評価）** | **評　　価** |
| 研修前 | 中間 | 最終 |
| 自己 | 他者 | 自己 | 他者 | 自己 | 他者 |
| 年/ | 年/ | 年/ | 年/ | 年/ | 年/ |
| **ニーズをとらえる力** | **ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズを****とらえる**□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる |  |  |  |  |  |  |
| □ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる |  |  |  |  |  |  |
| **ケアする力** | **最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する**□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するため、あらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる |  |  |  |  |  |  |
| □複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる |  |  |  |  |  |  |
| **協働する力** | **ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす**□複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる |  |  |  |  |  |  |
| □多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる |  |  |  |  |  |  |
| □関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる |  |  |  |  |  |  |
| □目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる |  |  |  |  |  |  |
| **意思決定を支える力** | **複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる**□適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる |  |  |  |  |  |  |
| □法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる |  |  |  |  |  |  |
| **評価者サイン** |  |  |  |  |  |  |

**評価：A:：特によい　　B：良い　　C：普通　　D：:努力を要する　　Ｅ：非常に努力を要する**

**中間評価の実施時期は、部署管理者（看護師長）に一任します。**